

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-141	15-020	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>A meta-analysis of the associations between the SLC6A4 promoter polymorphism (5HTTLPR) and the risk for alcohol dependence.</p> <p>SLC6A4 プロモーター多型 (5HTTLPR)とアルコール依存症リスクとの関連についてのメタ解析</p>		
執筆者		
Villalba K, Attonito J, Mendy A, Devieux JG, Gasana J, Dorak TM.		
掲載誌		
Psychiatr Genet. 2015 Apr;25(2):47-58. doi: 10.1097/YPG.000000000000078. Review.		
キーワード		PMID
5HTTLPR、SLC6A4 プロモーター多型、アルコール依存症、メタ解析		25710844
要 旨		
<p>目的： SLC6A4 プロモーター領域の遺伝子多型とアルコール依存症との関連に関するケースコントロール研究から得られるエビデンスを体系的にレビューすることを目的とする。</p> <p>方法： 2013年11月1日より前に出版された SLC6A4 多型とアルコール依存症との関連を検討したケースコントロール研究を Medline、BIOSIS および ISI Web of Science のデータベースにて検索した。論文からのデータの抽出は、2名が独立して行い、アジア人 (中国、日本、韓国)、ヨーロッパ人 (フランス、フィンランド、ドイツ、クロアチア、イタリア、ポーランド、スペイン)あるいはヒスパニック (メキシコ)の3つに分類した。ランダム効果モデルを用い、オッズ比を算出した。</p> <p>結果： 検索の結果、971論文のタイトルとアブストラクトをレビューし、175論文の本文を得た。このうち、条件を満たした25のケースコントロール研究 (ケース4,388名、コントロール4,497名)を対象とした。優性、劣性、相加の遺伝子リスクモデルで、いずれもアルコール依存症と SLC6A4 プロモーター多型との関連を認めなかった (OR=0.99 [95%CI: 0.83-1.18]、OR=0.86 [95%CI: 0.71-1.03]、OR=0.88 [95% CI:0.69, 1.13])。また、性、人種/民族性、精神障害の有無、出版年、診断基準のいずれも、遺伝子多型とアルコール依存症との関連における効果修飾を認めなかった。</p> <p>結論： 本メタ解析は、SLC6A4 プロモーター領域の多型がアルコール依存症に関連しないことを示唆している。</p>		